

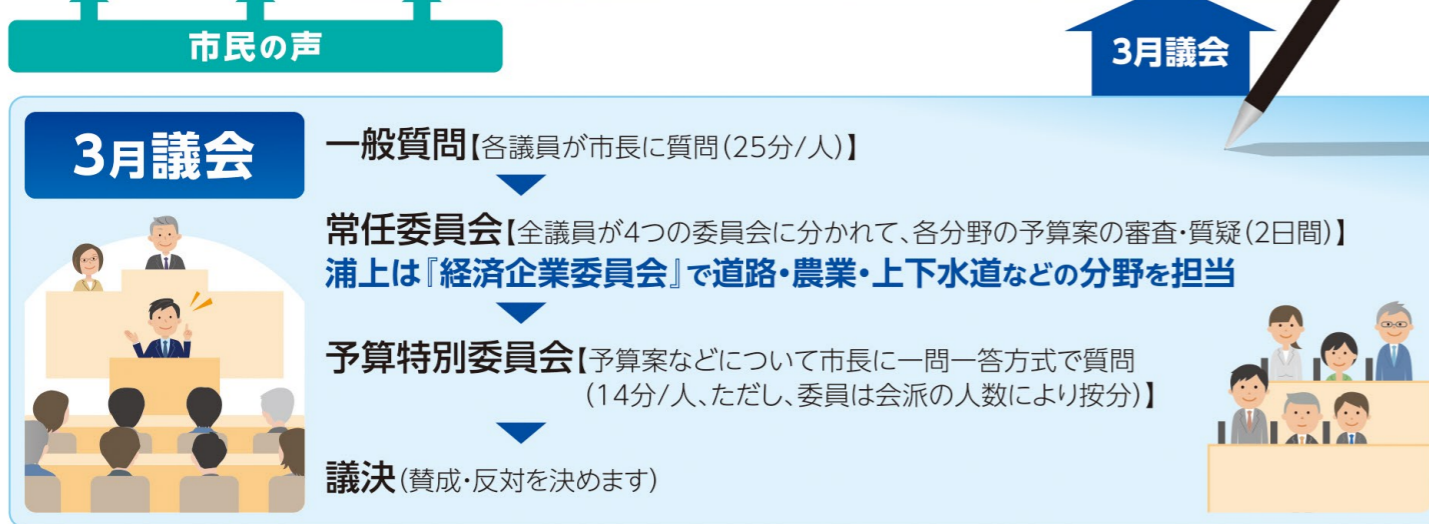
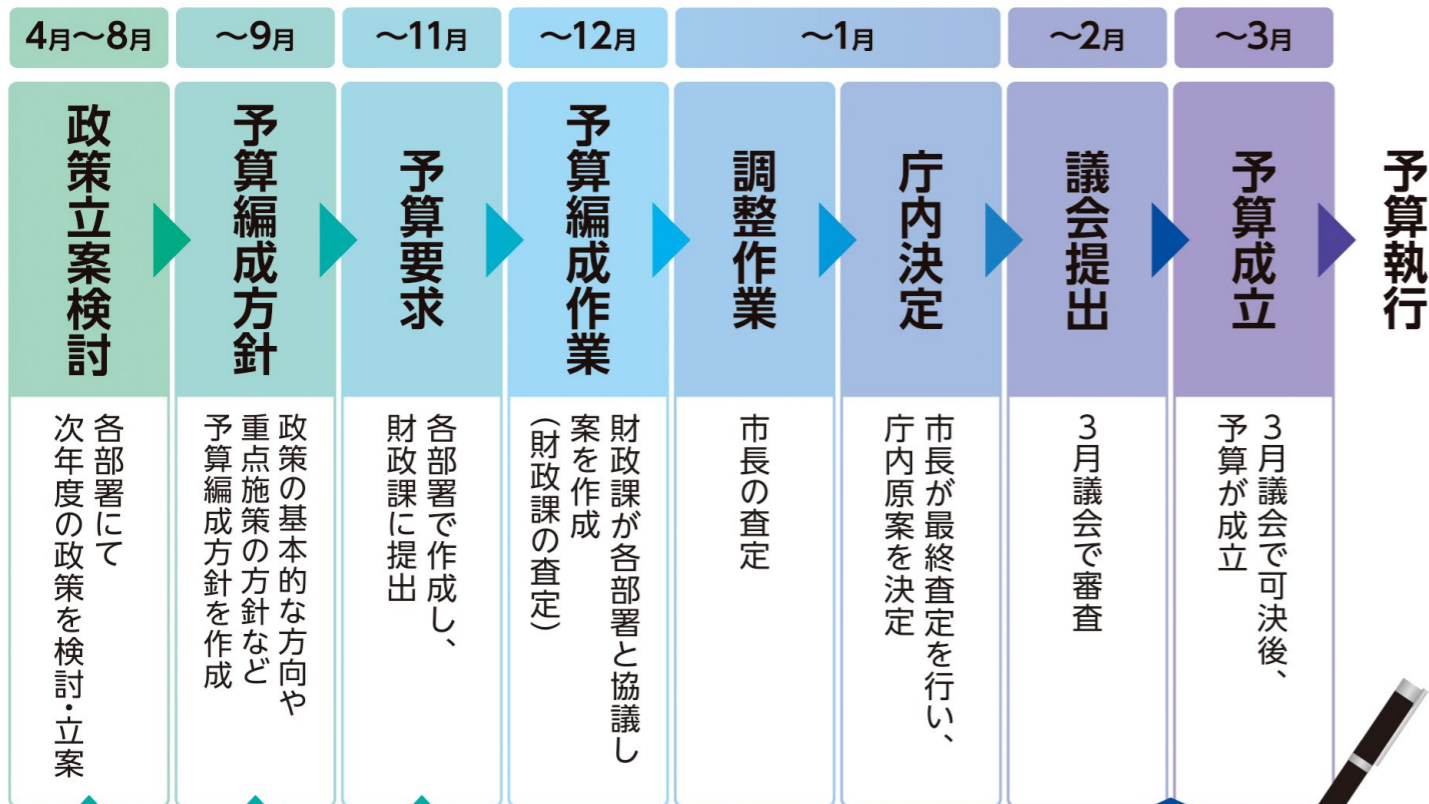
浦上はやと議会報告

うらがみはやと

みなさん、こんにちは！福井市議会議員の浦上逸人です。
 3/16に北陸新幹線が福井まで延伸開業し、3/31には全都道府県で最後のフルマラソンの
 となった「ふくい桜マラソン」が開催されるなど、全国から福井に注目が集まっています。
 明るい話題の一方で、中心市街地のインフラの整備や、防災、生活環境のことなどにつ
 いて、日々の活動で様々なご指摘やご意見を伺ってきました。
 福井市民の方が日々の生活により「幸せ」を実感できるよう、いただいたご意見をもと
 に議会活動で市の施策の問題点をただし、具体的な提案を続けてまいります。
 浦上はやと議会報告Vol.2では、1月から6月の期間に開催された定例会（3月・6月）
 や特別委員会などの議会活動について、ご報告します。



●当初予算は、どうやって決まるの???



中面には浦上はやとが市議会で質問・提案した内容を掲載しています

主な議会スケジュール 【令和6年1月～9月】

- 1月** 特別委員会*
- 2月** 議員全員協議会
- 3月** 3月定例会
(一般質問、常任委員会、
予算特別委員会)
- 4月** 議員全員集会
特別委員会*
- 5月** 臨時会
- 6月** 6月定例会
(一般質問、常任委員会)
特別委員会*
- 7～8月** 特別委員会*
- 9月** 9月定例会
(一般質問、常任委員会、
予算特別委員会)



浦上はやと 日々の活動 【令和6年1月～6月】

「前向きに、丁寧に、謙虚に」をモットーに、ひとつひとつ着実に行動してまいります。



▲ふくい桜マラソンに出場



▲能登半島地震の被災地でのボランティア活動に参加



▲市立図書館・リニューアル開会式

地域行事などに参加し、市民の方からの意見・要望などをヒヤリングしています!



▲小学校への授業(Web会議)



▲湊八幡春祭り



▲毎朝の見守り活動



▲はたちの集い



▲公園の清掃活動



▲交通量の多い公園前の道路に横断歩道を設置してもらいました

引き続き皆様からの声をお聞かせください。日々の活動は、FBなどのSNSをご覧ください!

浦上はやと事務所 〒910-0022 福井市花月5-1-42



☎ 090-9447-2951
 ✉ info@uragamihayato.com
 📱 浦上はやと
 🌐 公式ホームページ

浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- 麒麟ビール株式会社
- 福井市役所 農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))
*地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家族/妻と娘2人
- 趣味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成)
スポーツ観戦、読書、DIY

議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたいこと』などを質問・提案してまいります！

令和6年 3月定例会



① 政策評価について

問題意識 市の仕事で市民にどのような成果をもたらしたか、の運用やチェックがしっかりと出来ているか？

Q:来年度の政策評価の策定スケジュールと策定方針は？

A:(総務部長) 政策評価は「部局マネジメント」として数値指標を掲げ取り組んできたが、市民には分かりづらい面もあった。来年度からは、市長ビジョンの進捗度を市民に分かりやすくした内容の政策評価に変更する。

→4年分の『市長ビジョンロードマップ』を作成し、年度ごとに「ビジョン成果報告書」を作成・公表する方針に変更。

② 「簡単・便利」な行政手続について

問題意識 全国の自治体で、「簡単・便利」な窓口の普及が進んでいる。福井市でもきめ細かな相談対応や機能の強化を進めて欲しい！

Q:「簡単・便利」な窓口の導入の予定は？

A:(市民生活部長)

『行かない窓口(市役所まで行かなくても出来る手続き)』R6にマイナンバーカードを用いてスマートフォンなどから住民票などを取得できるオンライン窓口を導入予定。

『書かない窓口(申請書などを書かずに申請出来る手続き)』

R7自治体情報システムの標準化に合わせ、市民課窓口で「書かない窓口」を導入予定。



Q:窓口での審査が不要な提出物については、公民館・連絡所などの市施設に提出し、メール便を活用して担当部署に届けるサービスを導入してはどうか？ **提案**

A:(市民生活部長、教育部長)

連絡所(8施設) → 毎日、連絡所と本庁の間をやりとりするメール便がある。本来業務に支障がない範囲で担当部署への提出物の配送を受け付ける。

公民館(50施設) → メール便は月一回なので、メール便の活用は難しい。

→(要望) → メール便の数を増やし、公民館へ書類を提出出来るような環境整備について検討して欲しい。



③ 収入の確保について

問題意識 財政の健全化を図るために、収入(ふるさと納税などの税)をしっかり確保していかなければ！

Q:ふるさと納税には、障がい者支援施設などで作られた製品を返礼品とするなどの「思いやり型返礼品」や福祉施設や子ども食堂などへの寄付制度を導入してはどうか？ **提案**

A:(財政部長) ふるさとチョイスの「おもいやり返礼品」のページに障がい者支援施設の甘酒を掲載するなど「思いやり型返礼品」については一部対応しているが、寄付は未実施。他自治体の取組などを研究していく。

④ 近隣市町との連携について

問題意識 近隣の自治体と協力していくことは重要だが、役割や費用などの役割分担があいまいでは？

Q:観光分野における近隣市町等との連携、役割分担・費用負担についての考え方は？

A:(商工労働部長) 連携事業については近隣市町とワーキング会議を開催し、役割分担を協議している。費用負担については、成果物が残る場合は各市町が負担していることなどから、先導的な立場を担う本市が費用を負担している。

令和6年 6月定例会



① ふくい桜マラソンについて

問題意識 素晴らしい大会であったが、苦情や指摘もあった。改善し、次回の大会をより良いものにして欲しい！

Q:「道路舗装」

道路舗装が悪く、転びそうになる箇所があったとの意見が多かった。道路の点検や補修についてどのような確認や打合せを実施したのか？

A:(商工労働部長) プレ大会の結果や点検結果に基づき、3月に補修を実施した。参加者からの苦情も多かった反省を踏まえ、次回の大会に向け実行委員会と協議していく。

Q:「救護体制・救急搬送」

コース幅が狭い箇所が多く、事故があった場合の対応を心配する意見があった。救護計画について、実行委員会と消防局ではどのような役割分担で救護体制をとったのか。また、今回のマラソンでの救急搬送の状況は？

A:(消防局長) 実行委員会が定めた救護計画に則り4キロ間隔で設けた救護所に職員12名をし、移動救護隊に10名の職員を配置した。救急車はコースを避け、救護所に運ばれた患者を搬送する計画であった。今回は7名を救急車で搬送(重症1名、軽傷6名)

② 福井駅周辺の魅力ある空間づくりについて

問題意識 新幹線開業後、福井駅の近辺のみ賑わっており、中心市街地全体の活性化には繋がっていないのではないか？

Q:「案内看板」が少ないのではないか？ まちなか観光の回遊性を高めるような案内看板の整備計画は？

A:(都市政策部長) 地図情報を表示した「拠点サイン」と、距離や進行方向を表示した「誘導サイン」を93か所設置し、多言語対応や観光情報のQRコードの設置、観光案内所などで観光情報の提供などを行っている。今後は、街中の開発状況を踏まえ公共サインの充実や見直しを図るなど、街中の回遊性を高める取組を進めていく。

Q:「レンタサイクル」の利用状況と今後の整備計画は？

A:(都市政策部長) 北陸新幹線開業後の休日の平均利用回数は82回(R5:29回)であり、北陸新幹線開業による効果だと考える。現在は19か所、102台整備しており、今後は利用状況を勘案し、新規ポートの設置を検討する。

Q:「三秀公園周辺」の整備計画の進捗については？

A:(都市政策部長) 市が策定した構想では、三秀公園と三秀プール跡地を一体的に整備し、歴史資源を活かした地域づくりの場とするとしている。この界隈を訪れた方が歴史と文化を感じながら憩いくつろぐ場所となるよう配慮し、地域住民が使いやすい公園となるよう検討していく。

③ 避難所の環境整備・運営について

問題意識 避難所の環境整備と運営は命に係わる重要な課題であり、自治体の果たす役割は大きい

Q:今回の議会で、避難所となる体育館への空調設備の整備に向けた基礎調査として2千万円の予算案を挙げているが、その基礎調査の内容と整備の方針は？

A:(危機管理監) 基礎調査は、避難所に指定している50の学校体育館の建物の構造(高さや広さ)を把握し、導入効果や事業費の算出をするという内容。基礎調査の結果や改修工事の状況などを踏まえ、整備の方針を決定する。空調設備は、拠点避難所となる小学校体育館への導入を検討しており、中学校体育館への導入は検討していない。

Q:避難所を開錠するため、キーボックスの設置やICTによる開錠システムなどを段階的に導入すべきではないか？ **提案**

A:(危機管理監) 避難所として体育館を開錠するには、公民館に設置してある避難所対応バックに入っている鍵を使うことになっている。しかし、各体育館には、社会体育の利用を目的としてキーボックスが既に設置されているので、避難所を開錠する時にも利用できるよう関係者と協議していく。ICTによる開錠システムについては、他自治体での取組を研究していく。

